

日進通商株式会社

りんご 

中国のリンゴ果汁の米国向け価格が高騰。1月初めに東海岸着値 US\$7.75/ガロンであった価格は1月22日にはUS\$8.25/ガロン (US\$1,620/ton) と高めに推移。ヨーロッパ産の価格はUS\$8.25~8.75/ガロンで推移。米国産リンゴ果汁はそれらよりも安価であり、US\$8.25~8.50/ガロン。これらの海外産の高値は海上運賃の上昇が大きく影響しております。

(1) 中国

2020/21 新クローブは春先の霜害と長雨の影響で、収穫量は昨年と比較し減少。予想としては昨年比 約5%減の4千万トンレベル。

濃縮リンゴ果汁生産量： 56万トン (2019年) 44万トン予想に修正 (2020年)

中国のリンゴ加工は旧正月を迎え終了しており、ほぼ完売状態です。この時期は特に海上運賃が上昇しており、船積みは少なくなっております。

(2) ヨーロッパ 収穫量1,070万トン (最大産地ポーランド340万トン、前年17%増)

ポーランド： 濃縮リンゴ果汁の輸出量は24万トンに対し NFC リンゴ果汁の輸出量は25万トンが期待されている。前年度は23.3万トン。NFCの輸出先トップはドイツ、次がオランダそしてイギリスの3か国 (約8割強)、濃縮の輸出先の第一はドイツ、次がイギリス、そしてオランダと続く。しかしながら、ドイツの輸入量は圧倒的なシェアを占めている。NFC FOB 価格はEUR285/トン(US\$350/トン)、前年のUS\$300/トンより高騰。

トルコ： リンゴ果汁の輸出量が120,550トン (昨年112,000トン) と好調。11月の輸出量は22,400トンと高水準で最大の輸出国は米国向け9,500トン、次がウクライナ3,680トン、3番目はオランダ2,600トンであった。トルコのリンゴ果汁は、好調な売れ行きでほぼ完売状態の様相。全体としては、米国向けが67,400と半分強で、次がイギリスとオランダです。またイランから自国用に4,330トンを輸入しております。

ドイツ： 生果の生産量は昨年の99万トンよりも3%上昇し、102万トンです。

(3) 南アフリカ 2021年1月からリンゴの植樹を4%増やし (26,000ヘクタール)、過去数年前から西ケープ地区で干ばつの被害があったものの、リンゴ園は依然のレベルまで戻る。

柑橘オレンジ・グレープフルーツ

(1) フロリダ オレンジ

2020/21 年の USDA による作柄予想のオレンジ収穫量は 57 百万箱(対前年比 15%減) NFC オレンジ果汁の製品はフルーツよりも旧在庫からより多くが製造されております。フロリダの今シーズンの 12 週間(12 月 26 日まで)で昨年対比 12.5%増の 25.3 百万 LBS まで上昇しました。NFC オレンジ果汁のバルクは、国内販売(フードサービス)および輸出量(EU 向け関税負担)は 26%減少しております。

グレープフルーツ: フルーツ

2020/21 年の USDA の作柄予想では対前年比 7.2%減の 450 万箱。内訳はホワイトGFが 70 万箱(11.4%減)、Colored GF は 380 万箱(6.4%減)と減少しております。

フロリダ産濃縮ホワイト GFJC は過去 4 カ月変わらず、US\$4.25/lb solid, 赤 GFJC も変化なく US\$1.80/lb solid と安価です。GF 果汁の動きは鈍く 26%減少していて、在庫が 5%上昇しております。

テキサス: 2020/21 年の収穫予想は当初の 440 万箱から 490 万箱に上昇している。シーズン当初はパッキングハウスからフレッシュ市場に高い需要があり、果汁加工はスロースタートとなった。11 月中旬頃から果汁生産がフル稼働に移行。濃縮 GFJ のオファー価格 FOB テキサス価格は US\$1.70/lb solid、NFC 果汁は US\$2.20/lb solid。需要は堅調で、在庫レベルも充分な状況。

(2) ブラジル オレンジ

2020/21 はシトラスベルトの主要産地が長い間干ばつの影響により、開花後並びに着果後の高温と降雨不足の影響で、大幅に減産となり、前年度の大豊作から一転し 100 万箱減産の 288 百万箱(26%減)からさらに下方修正される予想。

2021/22 の新クロープは、それまでの干ばつの影響が開花に影響、収穫時期も遅れ、収穫量はそれほど期待できず、300 百万箱弱との予測。

(3) メキシコ オレンジ

2020/21 クロープ予想は、主要産地では 60-63 百万箱。バレンシア種は順調ですが、生産量は平均レベルで、フルーツの糖酸比は 9~10.0 とまだ低い。アーリーミッドシーズンの収穫量は少なくなかったものの、バレンシア種は昨年よりも作柄は良い。

(4) 南アフリカ フルーツ

2020 年度の搾汁シーズンは 3 月~9 月で収穫量は 36 万トンです。ホワイト GF が 4 年前からの植樹で収穫量が増え、日本向けの果汁が増している。

ブドウ

米国における 2020/21 年のブドウ収穫量(テーブルグレイプ、ワイン用、レーズン、果汁用)は 4%増で 646 万トン、カリフォルニア州は 10%増、ワシントン州は 4%増加。
しかしながら果汁用のコンコードグレイプは天候不順により減少。

(1)米 国

2020/21 年の WELCH コンコードグレイプの収穫量は対前年比 16%減少の 21 万 1 千トン、(西地区ワシントン州は 19%減、東部は 21%減、中部 11%増)と著しく収穫量が減少しており、平均収穫量の 24 万トンからも大幅減であり、価格はここ数年での一番の高値となる。

(2)ブラジル

2020 年は降雨量が少なく、干ばつの影響で収穫量が 3 割減少し、価格も上昇、テクノビンの販売価格も昨年よりも 10%上昇するも供給は充分との事。 2021 年クローブは今のところ順調。

(3)アルゼンチン

2020 年は 1 月の豪雨と霜、あられの影響で収穫量は対前年比 3 割減少、繰越在庫も少なく価格は上昇。 10 月に主要産地であるメンドーサ地区に寒波が有り、2021 年の収穫に被害が少なからず出る可能性があるものの、もう少し様子を見る必要がある。 ホワイト GJ68bx の価格は FOB ブエノスアイレス港渡し US\$1,200- 1,300/トン。 赤 GJC は US\$1,800/トンで変わらず。 アルゼンチンの輸出量は 112,000 トン(1 月~10 月)でほぼ昨年並みです。 UAE、サウジアラビアが主要輸出国です。

ロジスティックに関し、港の込み具合があるものの、工場から港までのトラック輸送は特に問題はない。

(4) チリ

2020 年は干ばつとアンデス山脈の降雪量不足で水不足の影響で収穫量は減少(2019 年度は豊作) ホワイトグレイプ収穫量は 10%減少しており、濃縮果汁の生産も減少する。

(5)スペイン

2020/21 年は白、赤グレイプ共に 2 月からの冬の降雨量が多く収穫は順調に回復傾向。

最大産地の Castille-La Mancha(マドリッドの南部自治州)では、前年比約 30%増の収穫、特にホワイトグレイプの生産が 70%と高く、濃縮果汁の需要が高まっている。

相場は濃縮グレイプ果汁 65bx で EUR900-950/ton、Ex-Factory で昨年とほぼ同じ。

レモン

アルゼンチン

2021年収穫は3月から始まりますが、昨年の6月の雨量不足と高温により、2020年より50万トンは減少し、約77万トンすると予想しております。これは2014年依頼最低の水準です。2020年のレモン生産量は約110万トンを少し下回り、2019年よりも20%減少しました。

アルゼンチンの透明レモン果汁400GPLのスポット価格はFOBブエノスアイレス価格はUS\$1,800～2,000/トン。

スペイン：今年は良いシーズンで、Ex-Factory 価格の透明果汁400GPLはEUR2,200/トンで先月より少し安価で推移している。

ブラジル

2020年度の生産はすでに終了している。CJ社としての次期生産は2021年3月予定。

パイナップル

2020年度のタイ国のパイナップル原料の総供給量：

1月～7月(過去最低記録) 約46万トン～49万トン

12月までの予測としては 約100万トン強(対前年50%)

タイの冬実の収穫と生産量は予想よりも多少回復に向かっております。原料は11月初めのTHB11.0～14.0/kgでスタートしたものの、現在はTHB9.5 10.0/kgまで下がっており、これは加工メーカーにとっては朗報である。加工業者にとっての原料価格はTHB6.0～7.0/kgでしょう。


現在の市場価格はFOBバンコクでUS\$2,000～2,300/トンと先月から約25%安くなっております。昨年度は年間200万トンを生産。

インドネシア

長期の干ばつにより前年よりも収穫は減少している。供給量は200万トン以下で推移。タイの不作を受けて、欧米向け輸出が好調。

コスタリカ

干ばつの影響により収穫は減少、糖酸比も低く、価格は上昇傾向、60bx濃縮パイナップル果汁の価格はCFRヨーロッパUS\$2,300～2,500/トン、NFCパイナップル果汁はUS\$800/トン。

ブラジル  11月初旬のヨーロッパ向けオファー価格は60bxでUS\$2,100/トン

コロナ禍における米国オーガニックフルーツ、野菜が好調

2020年度の米国におけるオーガニック販売は、2019年度の14%増 金額は85億ドル(ニールセン発表)と上向きです。

その中でもオーガニックバナナは最も販売量が増えており前年対比、16%増。

また最も売り上げを伸ばしている他の物は、パックサラダ、ベリー類(ストロベリー、ラズベリー、ブルーベリー)、りんごなどは前年対比、10%強増えております。オーガニックのカルティベート・ブルーベリーは2020年の11カ月で対前年比27%増え、27,500トンが主な産地国であるメキシコ、チリ、ペルーから輸入されております。

またハーブ、スパイス、ポテトなども家庭消費需要として大きく増えてますが、グレープは数量、金額ともに6%減少してます。

2021年の展望としては、フレッシュフルーツ、生野菜などが際立つとの見方です。

プルーン(カリフォルニア産)

カリフォルニアはCovid-19、夏場の山火事にも関わらずプルーン果実は今年の販売が好調で、2021年度も成長するとみられている。

特に機能性、栄養価が高いドライプルーンはビタミン類はじめ、ミネラル(カリウム、鉄分、カルシウム)、食物繊維も豊富であることで、健康免疫システムにも寄与するとして人気が出てきています。また単に食するだけでなく、ベーキング、スナックはじめ、料理などにも幅広く使用できます。

